

鹿兒島工業高等専門学校	開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	工学実験Ⅱ	
科目基礎情報					
科目番号	0025	科目区分	専門 / 必修		
授業形態	実験・実習	単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	情報工学科	対象学年	2		
開設期	後期	週時間数	4		
教科書/教材	【教科書】 なし (指導書を都度配布) 【参考書・補助教材】 情報処理技術者試験過去問題 「新・コンピュータ解体新書」, 清水忠昭ら共著, サイエンス社 「新・明解C言語入門編」, 柴田望洋著, SBクリエイティブ				
担当教員	入江 智和				
到達目標					
関係データベースについての基礎実験を行う。各実験内容を体験的に理解する。 1. 与えられたすべての実験を実施する。 2. 与えられた実験の目的を理解する。 3. 適切かつ十分な内容のレポートを作成できる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	与えられた以上の課題まで自発的に実施できた。	与えられたすべての実験を実施できた。	与えられたすべての実験を実施できていない。		
評価項目2	課題と目的の関係を説明できる。実社会での事例を説明できる。	目的を説明できる。	目的が説明できない。		
評価項目3	内容が正しく、テーマに沿った考察ができた。	必要な項目を記述しており、論理的に整合したレポートを作成できる。得られたデータに基づいて説明できる。	必要な項目を網羅したレポートを作成できない。論理的に整合したレポートを作成できない。		
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	講義で学ぶ「理論」の意味を自らの手足を動かして体験的に理解することにより、実践的な能力を育てる基礎となる。 1)情報基礎と1)情報処理Iの内容理解は必須であり、実験テーマはこれらの科目の修得と内容理解を前提に設定してある。 また、2)情報処理IIの内容も適宜必要になる。本科目の内容は3)工学実験IIの素養となる。				
授業の進め方・方法	与えられた実験を行い、レポートを提出する。				
注意点	あらかじめ指導書を精読し実験に臨むこと。自主的、積極的に実験に取り組み、不明な点は教員に質問すること。実験の内容を十分に理解してから報告書を執筆し、期限内に提出すること。不適切なレポートは再提出が要求される。情報工学科の工学実験評価規定に留意すること。				
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング <input type="checkbox"/> ICT 利用 <input type="checkbox"/> 遠隔授業対応 <input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	1. ガイダンス		
		2週	2. 実験準備	実験に取り組むための素養を修得し、実験環境を整備し、使用できるようになる。	
		3週	2. 実験準備		
		4週	2. 実験準備		
		5週	2. 実験準備		
		6週	3. 関係データベースについての基礎実験	与えられた全ての実験内容を実施し、その目的を理解し、適切かつ十分な内容のレポートを作成することができる。	
	4thQ	7週	3. 関係データベースについての基礎実験		
		8週	3. 関係データベースについての基礎実験		
		9週	3. 関係データベースについての基礎実験		
		10週	3. 関係データベースについての基礎実験		
		11週	3. 関係データベースについての基礎実験		
		12週	3. 関係データベースについての基礎実験		
		13週	3. 関係データベースについての基礎実験		
		14週	3. 関係データベースについての基礎実験		
		15週	レポート作成指導	レポートの構成、表やグラフの作成方法、データ解析の仕方、文献検索の方法等を習得し、実践できる。	
		16週			
評価割合					
	実験レポート内容	検討課題内容	実験レポート提出	実験の取り組み方	合計
総合評価割合	20	20	30	30	100
基礎的能力	0	0	0	0	0
専門的能力	20	20	0	0	40
分野横断的能力	0	0	30	30	60